

## 第2回全国造園技能競技大会

### 造園の技能競う大会で、藤井幸介さん金賞に輝く

10月に行われた第2回全国造園技能競技大会で、風林造園の藤井幸介さんが見事金賞を受賞されました。

全国から13チームが参加し、同じ支給材料で造園の腕を競った同大会。広島県代表として伊藤竜太さん（東広島市）とペアを組み、「しまなみのそよ風」と題した庭を制作。コンクリートなどを使わず施行したアーチ橋、竹垣などが評価されました。



1月17日、市長を表敬訪問する藤井さん（写真右）。「全国で競えたことがうれしいです。機会があればまた挑戦したい」と話してくれました。

## 平成24年度広島県広報コンクール

### 「広報はつかいち」が、2部門で全国コンクールへ

広島県主催の広報コンクールで、「広報はつかいち」12月1日号が広報紙市の部で優秀賞に、7月1日号が、組み写真の部で最優秀賞に選ばれました。

12月1日号は、「木の香、薫るまちで」と題し、まちで木と向き合っている人を特集、また、7月1日号は宮島トライアスロンの様子を10枚の写真で表現したものです。

これからも、皆さんに親しまれ、必要とされる広報紙を目指します。



今回受賞したこの2点は、広島県の代表として日本広報協会が主催する全国広報コンクールに推薦されました。

## 湯崎英彦の地域の宝 チャレンジ・トーク

### 広島の将来を 県知事と一緒に語り合う

「湯崎英彦の地域の宝チャレンジ・トーク」が1月26日、あいプラザで行われました。

廿日市市在住の金子貴文さん、和田恭明さん、広川和男さん、野本耕司さん、矢野哲圭さんの5人による事例発表が行われ、県知事と一緒に広島の将来について語り合いました。湯崎知事は、「広島に生まれ、育ち、住み、働いてよかった」と思える地域の実現に向けて取り組んでいきますと話しました。



発表を真剣に聞き、意見を交わす湯崎知事。「皆さんの意見を聞いて、少しでも良い明日にしていきたい」と話しました。

## 地元産かきを使った料理作品展

### 山陽女子短期大学の学生が新しいレシピを考案

2月10日、山陽女子短期大学で「かきを使った料理作品展」が開催され、食物栄養学科の学生がつくった料理41品目が所狭しと並べられました。

学生が「かきが苦手な人にも食べてもらいたい」「おいしいかき料理を全国に広めたい」との思いでそれぞれ考えた「かきのお好み焼き」「かきドック」「かき餃子」などを、誰でも作りやすいようにレシピも添えて展示されました。



市では、若い世代に地元の新鮮な農林水産物を食べてもらい、次の世代に伝えるための取り組みを行うなど地産地消や食育を推進しています。

## 第25回中学校女子はつかいち駅伝大会

### 昨年の雪辱を果たし、大野東中学校が優勝

晴天の中、第25回中学校女子はつかいち駅伝大会が、2月3日に行われました。

2年生・1年生の新チーム5人の選手がたすきをつなぐ同大会。市役所前をスタート、中継点、そしてゴールとし、23チームが参加しました。

優勝を目標に練習を続けてきたという大野東中学校は、3区で首位を奪い、そのままトップでゴールテープを切りました。



アンカーを務めた長距離キャプテンの中村貴美香さんは、「全員がいつも通りの力を出せました。優勝できてうれしいです」と話してくれました。

## 宮内小学校で選挙出前講座

### 立候補演説から投票まで 児童が選挙を実際に体験

2月18日、宮内小学校の6年1組で、選挙管理委員会による出前講座が行われました。将来有権者となる児童に対して、選挙に関する正しい知識や政治への関心を持ってもらおうと、模擬選挙を体験。児童自らの立候補演説をはじめ、実際の投票用紙や投票箱を使用し、架空の市長を選挙で選びました。

参加した入学晃太くんは、「20歳になったら絶対に選挙に行こうと思いました」と話してくれました。



開票しやすいように折っても開く投票用紙の秘密や、大人でも難しい選挙に関するクイズなどもあり、楽しい雰囲気の中で学習しました。

# リサのKUMARA TALK

このコーナーは、リサ・ジャン国際交流員（ニュージーランド出身）が担当しています。タイトルの「KUMARA」は、ニュージーランドで使われるマオリ語の「さつま芋」という意味で、交流員の二つの故郷にちなんでいます。

このコーナーへの意見・感想は、協働推進課国際交流・多文化共生担当（市民活動センター内） ☎0201まで気軽に寄せてください。

## ニュージーランド・マスタートンと 姉妹都市提携15周年



寒い冬が終わり、待ち遠しい春が来ましたね。まだ少し寒いですが、庭に植えている花は芽が少し出ていませんか。

この4月に廿日市市とニュージーランドのマスタートンが姉妹都市提携15周年を迎えます。今回はそのことについて少し話したいと思います。

姉妹都市提携のきっかけは、ともに木のまちとして栄えてきたことと、市内にある企業とのつながりでした。

今からさかのぼって、1991年に当

時の廿日市市長がマスタートンを訪問した際、姉妹都市提携の要望を受けました。市民同士の交流が望まれたため、1996年に第1回目の海外研修旅行を行いました。お互いの交流を続けながら、1998年4月21日に、国際テレビ会議システムを利用して調印式を行いました。その後の交流も継続していて、去年は14回目の海外研修旅行を実施しました。

そして、今年15周年を迎え、マスタートンの市長が廿日市市に来て一緒に祝うことになりました。今から約4年半前に、わたしは初めてニュージーランドから廿日市市へ来ました。そして、その最初の大きな仕事と言えば、マスタートン市長の訪問対応でした。あの時に、原爆ドームをはじめ、宮島など世界遺産をもちろ

見学しましたが、市役所の見学や市内企業の見学もしました。その中で、一番印象的なのは吉和の気候でした。日本に来るまでは、日本の夏は蒸し暑くて大変だとよく聞いていました。しかし、吉和に行ったときに、涼しくて、ニュージーランドの夏とあまり変わらないことが印象的で、とても嬉しかったのを覚えています。

わたしが廿日市市にいた間に、この盛大な祝い事を迎えられる、そして、またマスタートンの市長が来ることに対応できることを心から光栄に思っています。

マスタートンの市長は、4月の桜まつりに来られる予定になっています。皆さんもぜひ桜まつり会場に来てください。

## Information

### 市県民税、所得税の申告は 3月15日(金)までに

問合せ 課税課 市民税係 ☎9113

#### 申告はお早めに

申告期限間近になると、会場は大変混み合います。申告書は早めに作成し、提出しましょう。

#### 所得税の申告は、e-Taxが便利です

e-Taxとは、あらかじめ開始届出書を提出し、利用者識別番号などを取得しておけば、インターネットで国税に関する申告や納税、申請・届け出などの手続きができるシステムです。作成した申告書などのデータは、自宅から税務署に送信できます。また、印刷した申告書は税務署に郵送などでも提出できます。

#### 帳簿などの保存制度の変更

平成26年1月から、記帳・帳簿などの保存制度の対象者が拡大されます。個人で事業（農業を含む）や不動産貸付などを行うすべての人について、記帳・帳簿などの保存が必要となります。 ※詳しい内容は、廿日市税務署 ☎1217（音声ガイダンス）まで